

川俣町議会DX化推進計画書

令和4年12月7日付けで決定した「議会改革の取組に関する決議」に基づき、議会のDX（デジタル・トランスフォーメーション：デジタル技術による変革）化について、本計画書に基づき推進する。

はじめに

議会改革にデジタル技術を取り入れた取組として、ICT化（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）とDX化の二つが挙げられる。ICT化は、デジタル技術の活用を指すのに対し、DX化は、デジタル技術による改革・変革を指す。本計画では、ICTの導入に加え、デジタル技術によって議会改革を果たすことを目的とし、「議会DX化推進計画」と呼称する。

1 策定の目的

議会改革行動計画書の3「議会のDXと議会ICTの推進」の項目を達成するとともに、議会改革全般の取組を支援する。

【参考】DX導入のメリット ※ウェブサイト・ページより抜粋

1. 業務の生産性向上・コスト削減
2. 時代の変化に柔軟な対応
3. 新たなサービス・ビジネスモデルの開発
4. 働き方改革
5. BCP（事業継続計画）構築
6. 旧システムから脱却
7. その他、蓄積されたデータの有効活用 など。

2 所管と進行管理

本計画の所管は、議会運営委員会とし、全員協議会に提案のうえ、年次的に進めていく。

毎年見直し策定される「議会改革行動計画書」の進行管理にあわせ、目標の達成度、DX化の効果、成果を検証し、更新していくものとする。

3 事業

タブレット端末の導入から開始し、議会改革行動計画の進行管理にあわせて効果検証のうえ、必要な事業を検討する。

【議会改革行動計画に掲げる主な事業】

分 類		3 議会の機能強化、議会運営の適正化	
項 目		(4) 議会DXと議会ICTの推進	
No.	取組	行動目標 ※★は令和5年の目標	実績と評価
15	I C T の 導 入による議 会運営のD X化	・委員会審査、当局説明事項、 共有事項の最適化	
		・一般質問通告等、各種手続き の最適化	
		・通知等連絡と情報共有の最 適化	
		★タブレット端末の導入と運 用	
		★タブレット端末運用のルー ル策定	
		★タブレット端末導入による 成果、目標の明確化	
16	S N S 等 の 活用と情報 公開	・SNSツールの勉強会	
		・SNSで活動を投稿する	
		・SNS運用の効果検証	
		・SNS公開規定等の整備	
		★SNS運用のルール策定	
17	議会DX化 予算の確保 と効果検証	・計画の進行管理と更新	
		・費用対効果の検証と最適化	
		★DX化予算の獲得と効果検 証	

取組No.	15
事業名	ＩＣＴの導入による議会運営のＤＸ化
概 要	①議員にタブレット端末を整備（貸与）し、郵送・ＦＡＸによる通知等をチャットツールに置き換える。 ②カレンダー機能の共有化により、日程、議会スケジュール等の共有化、効率化を図る。 ③ペーパーレス会議ソフトを導入し、議案、付属資料等を電子データに置き換える。 ④議場にテレビモニターを設置し、傍聴者にも分かりやすく、開かれた議会運営を目指す。 ⑤その他、例規集、計画書、委員会、全員協議会説明資料、議案、会議録等を電子データに置き換え、議員が、どこでも閲覧することができるようにする。
目 的	①各種情報の電子化・共有化（例規集を電子データに置き換え） ②郵送・印刷コストの通信費への置き換え ③情報公開の促進 ④傍聴者の増による議会活動への住民の理解促進
目 標	①議会予定、スケジュールを共有し、電話確認、欠席届等の連絡を効率化する。 ②重要案件、イベント等、当局からの情報伝達、共有を円滑にする。（全員協議会の時間短縮・FAX 送信ゼロ化） ③通知、議案、資料等をペーパーレス化し、紙の使用を 80%以上削減する。（コスト試算 議案のペーパーレス化約▲50 万円、例規集加除▲85 万円） ④タブレット導入後、本会議中「手持ち資料がないため、のちほど回答します」の答弁をなくす。（現状 1 会期につき 2～5 件→ゼロ化） ⑤全議員がカメラツール、地図ツール、文字入力ソフト、会議ソフトを習熟し、一般質問通告等のデータ提出、SNS への投稿（調査報告、活動報告等）ができるようになり、請願調査、調査報告書に活用する。 ⑥一般質問や質疑に、グラフ、地図、写真等を活用し、「見える化」する。 ⑦議案のほか、全員協議会資料、委員会資料、調査報告書、委員会会議録等を議会ホームページに公開する。 ⑧タブレット端末貸与規定等のルールを整備する。

	⑨議場へのテレビモニターの設置により、分かりやすく、開かれた議会運営を展開し、傍聴者増を目指す。(現状 1会期中の1日当たり平均傍聴者数4人→8人) または、1会期中1日は傍聴者席を満席(31人)にする。
事業費	令和5年度要望額 合計 3,091,170 円
スケジュール	令和5年度 4月～6月 調達(入札手続き～納品) タブレット・会議ソフトウェアと規定・申し合わせ等のルール整備 6月～ 議員配布のうえ試行(概要①、②、③を先行) 9月～ 議会会議の一部をペーパーレス試行 10月～ 効果検証 運用ルール等の見直し 11月 改選前・回収 改選後・(再)配布 12月～ 新人議員向け研修会 3月 議会会議の一部をペーパーレス試行 令和6年6月定例会から完全ペーパーレス化

取組No.	16
事業名	S N S等の活用と情報公開
概 要	① S N Sを用いて、議会活動、委員会活動等の「見える化」を図る。 ② S N S等、情報公開を進めることで、議会活動に対する住民の理解促進を図る。 ③ S N Sへの投稿により、議会活動記録を保存する。
目 的	① 議会活動への住民の理解促進 ② 議会等報告、議決事項等、情報公開・情報共有の最適化
目 標	① S N Sを用いて、議会開催について告知する（事前）。 ② S N Sを用いて、委員会開催、全員協議会開催を報告する（事後）。 ③ S N Sを用いて、所管事務調査について、調査内容、感想などを報告する（事前・事後）。 ④ S N Sを用いて、議会ホームページの更新を告知する。 ⑤ 議会ホームページに、議案、調査報告書、意見書、議決内容を掲載し、S N Sと連携する。 ⑥ そのほか、議員が自ら情報公開し、共有できるようになる。 ⑦ S N S運用に関する規定・ルールを策定する。
事業費	ゼロ
スケジュール	令和5年度 4月～6月 タブレット端末調達 S N S運用に関する規定・ルール等の検討 6月～ 事務局でアカウント取得し、順次試行する （目標①から開始） 9月～ S N S投稿等に関する研修会検討 10月～ 効果検証 運用ルール等の見直し 11月 改選前・タブレット回収 改選後・（再）配布 12月～ 新人議員向け研修会

取組No.	17
事業名	議会ＤＸ化予算の確保と効果検証
概 要	①タブレット端末導入のための予算要求 ②導入後の費用対効果の測定と検証 ③計画の進行管理と更新 ④その他、議会運営のＤＸ化予算の要求
目 的	①議会運営のＤＸ化に必要な経費算出と予算要求 ②議会ＤＸ化の成果効果の「見える化」と目標設定の最適化
目 標	①令和５年度予算にタブレット端末導入に係る経費（３,０９２ 千円）を要求する。 ②ＤＸ化の取組の進行管理と目標の再設定 ③ＳＮＳの公開状況、効果検証
事業費	ゼロ
スケジュール	令和５年 １月～３月 タブレット端末予算要求と議決 ４月～ ペーパーレス化等、効果検証に関する実績を記録 １０月～ 効果検証と次年の計画・目標の再設定